

島根県保健環境科学研究所  
島根県感染症情報センター  
Tel :0852-36-8181

1. 県内感染症情報

1) 全数報告感染症（1～5類感染症）

[ ]は無症状病原体保有者を再掲

結核が11件[3](松江圏域5件[1]、出雲圏域1件、大田圏域2件、浜田圏域2件[1]、益田圏域1件[1]、後天性免疫不全症候群が1件(松江圏域)、侵襲性肺炎球菌感染症が4件(雲南圏域1件、出雲圏域2件、益田圏域1件)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が3件(出雲圏域1件、益田圏域2件)報告されています。

\*週報報告医療機関からの報告患者数(4週換算)：11月 1,927件 12月 2,140件 1月 3,351件

2) インフルエンザ及び小児科定点報告 ( )内は月の定点当たり報告数(4週換算) [ ]は週の定点当り報告数

○インフルエンザ : (56.9)。県内全域の患者報告数は急増し、1月中旬第3週[20.4]以降、注意レベル[10.0]を超える流行が続いています。特に、松江圏域(91)では第3週[31.4]及び第4週[33.0]に、雲南圏域(73)では第4週[31.7]に警報レベル[30.0]を超える流行となっています。A型を中心に、少数ながらB型も医療機関で検出(迅速診断)されています。予防接種、うがい、手洗い、咳エチケット等感染予防を心掛けましょう。

○感染性胃腸炎 : (26.6)。薬事衛生課から冬季の食中毒注意報が発表されています。県内全域の患者報告数は12月に比べほぼ半減していますが、隠岐圏域(98)では12月下旬以降(第1週を除き)警報レベル[20.0]を超える流行が続いているほか、各圏域で患者発生報告があります。冬季はノロウイルスを中心としたウイルス性食中毒が発生しやすい時期です。手洗いの励行と食品の取扱いに注意しましょう。

○A群溶連菌咽頭炎 : (8.1)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいです。松江圏域(16)及び出雲圏域(10)を中心に、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。合併症を来さないよう早期診断と確実な治療が重要です。

○流行性耳下腺炎 : (5.7)。県内全域の患者報告数は12月に比べ増加しており、過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、雲南圏域(30)では12月中旬以降流行が続いており、1月も第1週[10.0]、第2週[8.5]及び第4週[8.0]と警報レベル[6.0]を超える流行が続いているほか、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり、注意が必要です。有効な予防方法は予防接種で、現在、任意予防接種として1歳以上で接種することができます。

○伝染性紅斑 : (2.5)。県内全域の患者報告数は過去5年間の同期に比べ多い状況が続いており、特に、隠岐圏域(9)、益田圏域(6)及び浜田圏域(6)では2016年秋以降流行が続いています。1月も隠岐圏域で第1週[2.0]、第2週[3.0]、第3週[3.0]及び益田圏域で第3週[3.0]に定点当り患者報告数が警報レベル[2.0]を超える流行となっているほか、各圏域で患者発生報告があり、引き続き注意が必要です。

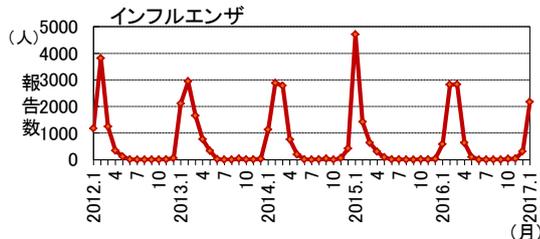
○水痘 : (1.8)。水痘ワクチンの定期接種化に伴い、県内全域の患者報告数は過去5年間の同期に比べ少ない状況です。12月に比べやや減少していますが、大田圏域(4)ほか、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。

○RSウイルス感染症 : (1.6)。松江圏域(3)、雲南圏域(2)、益田圏域(2)及び出雲圏域(1)で患者発生報告があります。

○咽頭結膜熱 : (1.2)。松江圏域(2)、雲南圏域(2)、出雲圏域(2)及び益田圏域(1)で患者発生報告があります。

○手足口病 : (1.1)。出雲圏域(4)、松江圏域(1)、大田圏域(1)及び浜田圏域(1)で患者発生報告があります。

過去5年間の発生推移(2012年1月～2017年1月：月4週で換算)



3) 眼科定点報告

流行性角結膜炎が1件(出雲圏域)の患者発生報告があります。手洗い等感染予防を心掛けましょう。

4) 性感染症報告

性器クラミジア感染症が5件、性器ヘルペスウイルス感染症が1件及び淋菌感染症が5件の患者発生報告があります。

5) 基幹病院報告

○無菌性髄膜炎 : 4件(4週換算)。出雲圏域3件及び松江圏域1件の患者発生報告があります。

○マイコプラズマ肺炎 : 18件(4週換算)。12月に比べ増加しており、雲南圏域では12件と患者報告数の多い状態が続いているほか、松江圏域2件、出雲圏域1件、大田圏域1件及び浜田圏域1件の患者発生報告があります。

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 19件。地区別では西部からの報告が15件(79%)を、年代別では70歳以上が11件(58%)を占めています。

○薬剤耐性緑膿菌感染症: 1件。西部で70歳代以上1件の報告があります。

2. 病原体検出情報(2016年12月～2017年1月までの検出結果)

インフルエンザは、8月にA香港型が検出されて以降、県内全域でA香港型のみ検出されています。感染性胃腸炎は、ノロウイルスGⅡが主に検出されています。咽頭結膜熱は、アデノウイルス2型及び5型が、手足口病は、8月以降コクサッキーウイルスA6型が継続して検出されています。無菌性髄膜炎からは、エコーウイルス6型が検出されています。エコーウイルス6型は、様々な診断名の症例から検出されています。

2016年12月から2017年1月までの診断名別病原体検出数：島根県保健環境科学研究所(一部抜粋)

診断名	アデノ		キコクA	キコクB	エコー	エインザフル	ライノ	ノロ		合計		
	1	2	3	5	6	5	3	6	AH3		G1	G2
インフルエンザ									40			40
感染性胃腸炎			1						1		10	13
咽頭結膜熱	1	4	1	3					1			10
手足口病	1				2							3
咽頭炎			2			1		2	1			6
肺・気管支炎	1	1						1	1			4
熱性疾患							1					1
無菌性髄膜炎								2				2

# 島根県感染症発生動向調査情報（定点把握疾患：月集計）

島根県感染症情報センター  
(島根県保健環境科学研究所)

2017年 1月

平成29年1月2日～平成29年1月29日

区分	県			圏 域 別																	報告数推移 <sup>※</sup>							
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	10月	11月	12月	1月	
インフルエンザ <sup>※</sup> 定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	2164	1121	1043	1003	218	420	122	192	156	53	12	29	95	94	130	91	119	121	97	121	112	539	604	31	39	314	2164	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	36	21	15	20	3	7	-	-	6	-	14	6	6	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	339	245	65	36	
咽頭結膜熱	28	17	11	11	4	9	-	-	4	-	-	2	14	4	4	1	2	-	-	-	-	-	1	34	49	51	28	
A群溶連菌咽頭炎	186	99	87	113	7	50	6	6	4	-	-	-	1	4	17	22	29	23	13	22	15	30	10	176	186	188	186	
感染性胃腸炎	611	329	282	204	24	122	72	21	70	98	18	36	86	61	52	50	57	40	29	25	22	72	63	865	1041	1171	611	
水痘	41	22	19	15	3	5	8	7	3	-	1	4	4	6	7	4	8	3	3	1	-	-	-	26	37	47	41	
手足口病	26	5	21	5	-	18	1	2	-	-	1	3	14	3	-	-	3	-	-	-	-	2	-	149	86	70	26	
伝染性紅斑	57	36	21	3	2	5	3	17	18	9	-	2	3	2	4	8	12	9	6	5	2	3	1	44	59	62	57	
突発性発疹	44	26	18	18	-	14	1	1	9	1	-	20	20	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	47	48	44	
百日咳	5	-	5	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	5	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	10	3	-	
流行性耳下腺炎	130	71	59	16	62	33	-	2	17	-	-	2	11	4	15	13	18	23	10	8	7	15	4	125	109	107	130	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	4	1	
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	4	3	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	6	3	-	4	
マイコプラズマ肺炎	18	7	11	2	12	2	1	1	-	-	-	-	10	5	-	-	-	-	-	1	-	-	2	32	13	9	18	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	

※月の週数により補正しています。

# 島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

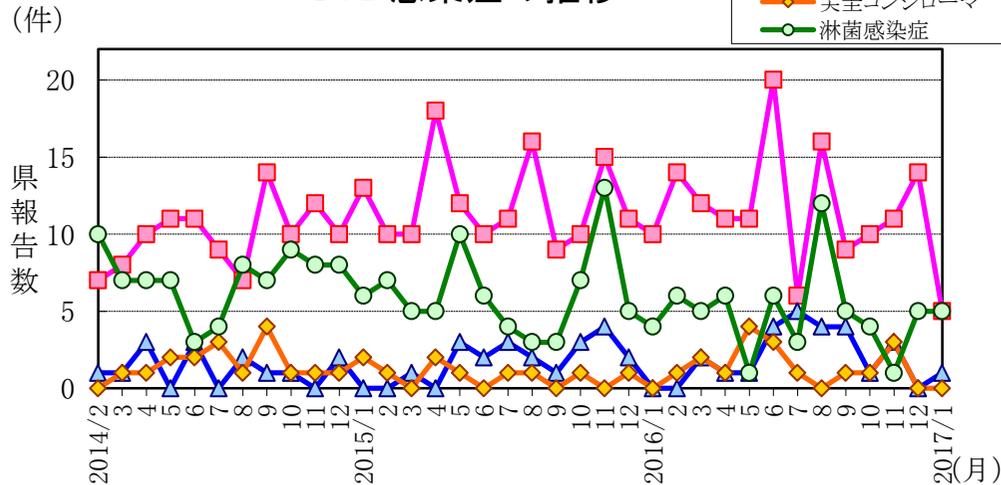
島根県感染症情報センター  
(島根県保健環境科学研究所)

2017年 1月

平成29年1月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)														
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月
<b>STD定点</b>	<b>6</b>			<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>0</b>									<b>6</b>												
性器クラミジア感染症	5	3	2	2	2	1	-	-	-	2	2	-	-	1	-	10	14	12	11	11	20	6	16	9	10	11	14	5
性器ヘルペスウイルス感染症	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	4	5	4	4	1	3	-	1
尖圭コンジローマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	4	3	1	-	1	1	3	-	-
淋菌感染症	5	5	-	1	-	4	-	-	-	3	2	-	-	-	-	4	6	5	6	1	6	3	12	5	4	1	5	5
<b>基幹病院定点</b>	<b>8</b>			<b>1</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>1</b>									<b>8</b>												
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19	14	5	1	3	15	-	2	-	-	-	-	1	5	11	32	34	34	24	24	23	24	23	32	24	23	19	19
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### STD感染症の推移



### 薬剤耐性菌感染症の推移

